



＝日本国憲法 第九条＝

《 戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認 》

”平和への想い止めないで” 日本政府の核禁締約会議参加を

広島・長崎に原爆が投下されてから今年で80年を迎えます。

昨年12月にノーベル平和賞授賞式がノルウェーの首都オスロで行われ、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)にメダルと賞状が授与されました。

昨年受賞となった理由は、被爆80年の運動を世界的に展開してほしいというノルウェー・ノーベル委員会の思いがあり、前倒しにしたこととです。被団協が受賞したことは、国の補償や救済を訴えつつ、核による悲惨な証言を通して核廃絶に取り組み、世界の平和を求め続けた運動が認められたことです。

被団協代表委員の田中さんは受賞演説で「核兵器は一発たりとも持つてはいけません。というのが原爆被害者の心からの願いです。想像をしてみてください。直ちに発射でき

る核弾頭が四千発もあるという。広島・長崎で起こったことの数百倍、数千倍の被害が直ちに現れるということ。皆さんがいつ被害者になってもおかしくない、加害者になるかもしれない状況になるのです。核兵器を無くしていくためにどうしたらいいのか世界の皆さんで話し合い求めていただきたい。人類が核兵器で自滅することのないようにそして核兵器も戦争もない世界の社会を求めて共に行きましょう」と述べられ、踏まえ核の傘による抑止力を演説を終えると会場は大きな拍手に包まれ涙を流しておられる人もいました。

授賞式には日本の高校生も参加していて「鳥肌が立つような授賞式で核廃絶への強い思いを自分たち若い世代が引き継いでいかなければと実感した」と語っていました。今月米ニューヨークで核兵器禁止条約第3回締約国会議



NHK NEWSより

今月の予定です

3月2日(日) 13:30～16:50

無料上映& ディスカッション 「自殺か?他殺か?事故死か? 法医学者たちの告白」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

3月6日(木)～11日(火)

平和のつどい 9:30～17:00

展示とイベント 詳細は右欄をご覧ください。

3月9日(日) 16:00～17:00

9の日行動 九条通信配布とアピール
愛宕駅 改札前 野田・九条の会

3月15日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 3月例会 DVD 視聴と「水爆実験60年目の真実—意見交換 ヒロシマが迫る“埋もれた被爆”」
樺のホール 第2集会室 野田・九条の会

4月6日(日) 13:30～16:45

無料上映& ディスカッション 「ひで子と藤、奪われた58年」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

平和のつどい・のだ戦争展

入場無料

戦争の記憶と記録を語り継ぐ
被爆80年を忘れない!

3月6日(木)～11日(火)
11日は15時まで

▶ 9:30～17:00
▶ 市役所 1階 ふれあいギャラリー



2025年3月6日(木)～3月11日(火)
開催時間 9:30～17:00 11日 15:00まで
野田市役所 1階ふれあいギャラリー(入場無料)

展示
・第五福竜丸
・戦時徴用船の記録
・先の戦争時の実物
・原爆写真
・その他

イベント
・平和コンサート& 3/8(土)12:30～14:30
ちよっと賑やかなおしゃべりカフェ
♪ 皆んなで唄い語りましょう

旧日本陸軍遺跡 登戸研究所資料館見学会

明治大学平和教育登戸研究所資料館
神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス内

4月3日(木)

- 電車で行きます。
- 愛宕駅 8:42 発の柏行き 先頭車両に乗車してください。



※ 詳細は見学会お誘いのチラシで確認ください。



全国に広がる PFAS 汚染 日米地位協定改定で基地からの汚染を防げ

皆さんは、新聞やテレビなどで「PFAS」（有機フッ素化合物）という言葉を見聞きすることがあると思います。PFAS はすでに製造・使用が禁じられている「PFOS」「PFOA」等と同類で、日本での暫定目標値50ナノグラムに対比して欧米諸国のそれは5分の1、10分の1で環境意識の高い北欧などはさらに低い目標値です。

最大の問題は人体汚染

PFAS による健康影響は、腎臓・精巣・膵臓等のガン、潰瘍性大腸炎で、その他次世代への悪影響として流産・ダウン症候群の原因にもなるといわれています。

汚染源は次の3つ

- ① PFOS などを含む泡消火剤を使っていた基地（米軍・自衛隊）や空港
- ② PFOS を製造または使用していた工場
- ③ 産業廃棄物または廃棄物最終処分場

▶ 広島県東広島市の場合

米軍川上弾薬庫の周辺井戸から目標値の300倍ものPFASを検出しました。
当施設では、1991年から2009年の間PFOSを含む泡消火剤を使った訓練をしていました。

▶ 米軍横田基地（東京都）の場合

昨年8月30日消火訓練エリアから泡消火剤を含む水を約48トン漏出。その後排水溝を通じて多摩川に流したのではないかと疑われます。事後米軍がすべての基地でPFASを含んだ泡消火剤の廃棄を指示したのは2024年9月でした。

日本国内法では、PFASなど有害物質の漏出が発生したときは、指定物質を扱う事業者は直ちに都道府県知事に報告する義務があります。政府には日本国民の健康を護る重要な国内法の規制対象が官民の施設に止まらず、米軍の活動に対しても適用されるよう日米地位協定の改定を目指して米国側と積極的に交渉していくことが求められます。

母の形見の着物で

ベストを作りました

小原 八枝子



生きていれば、百一歳になる母が若いころ着ていた、道行コートと羽織。このまましまっておいても一生着ることはないでしょう。

戦時中の厳しい生活を経験した母は、物を大切にすることを教えてくれました。そんな母が大切にしていた着物を処分してしまうのは忍びないので、リメイクする事にしました。

卒業、入学の度に着て参列していた母の姿を思い出しながらほどこきました。全て手縫いで、一针も外に出さず所要所でしっかりとカン止めがしてあって、和裁の技術に感心しながら。そして、洗濯をしアイロンを掛けてみました。多少色落ちや洗い縮みや風合いも落ちますが、充分リメイク可能でした。さすがシルク。肌触りがとても良いです。

これでリバーシブルベストが二枚出来ました。姉と二人でお揃いで着て、お墓参りに行ったら母は喜んでくれるでしょうか。

戦前、戦中、戦後を生きた人達が今の世の中をどう思うのでしょうか。そんな事を考えながら縫いました。

